



深草 徹の「ここがポイント」

“非立憲”は許されない

深草 徹



「一の地方公共団体のみに適用される特別法は、法律の定めるところにより、その地方公共団体の住民の投票においてその過半数の同意を得なければ、国会は、これを制定することができない。」

憲法95条には、こう定められています。国が、特定の地方公共団体の住民に負担を課し、或いは他の地方公共団体の住民と差を設けるような法律を制定するには、住民投票を実施してその過半数の同意を得なければなりません。

では、法律以外の政府の施策であれば、このような制約は無視してよいと言えるでしょうか。去る2月24日、沖縄県で実施された辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否を問う県民投票の結果とその後の事態は、このことを問いかけています。

自民党の姑息な妨害策動などで懸念された投票率も52%を超え、反対票は有効投票の72%超、県民の圧倒的多数が反対していることを示す結果となりました。しかし、3月1日、投票結果を通知するために訪れた玉城知事に対し、安倍首相は、「普天間飛行場の危険除去のために、辺野古移設（埋め立て工事）を進める」と、投票結果を歯牙にもかけない姿勢を示しました。実際、辺野古の現地では、埋め立て工事は、何事もなかったかのように進められています。

大正デモクラシーの時代、憲法学者として、その流れに掉さした京都帝国大学教授佐々木惣一博士は、違憲は固より非立憲であるが、憲法の精神に反する政治も非立憲であり、許されないもの、と断じました。上に述べた政府の対応は、憲法95条には、形式的には抵触しなくても、その精神には反する非立憲であり、許されないと言わねばなりません。

(深草憲法問題研究室主宰、九条の会.ひがしなだ共同代表)

3・11 神戸からの祈り 2019

東日本大震災に思い寄せて 「脱原発」への願いも新たに

小橋かおる

2013年から毎年3月11日に、神戸・三宮のマルイ前でキャンドルを灯し、東日本大震災で犠牲になられた方々への追悼と、今なお苦しんでいらっしゃる方々を思う祈りの場を設けさせてもらっています。

有志による集いですが、毎週金曜日に関西電力神戸支店前で脱原発を訴えるゼロコネットと、毎月1回マルイ前で脱原発をアピールする、さよなら原発神戸アクションのメンバーを中心に企画しています。

今年の「神戸からの祈り」では、福島の若者とスカイプで交流できるようにして、たまたま三宮に来ていた女子高校生が「3・11の時は受験シーズンだったと思いますが、大変でしたか？」と若者にしか思いつかない質問をしてくれて、新鮮でした。私は司会担当で、最後に「このキャンドルの灯が消えた後は、私たちひとりひとりが小さな灯となって、皆が支え合って、幸せに生きられる社会にするために動きましょう」と言って、キャンドルの火を消しました。来年も歌や詩、福島からの声とともに、キャンドルを灯したいと思います。よろしければ、ご一緒ください。

(3・11神戸からの祈り実行委員会、さよなら原発神戸アクション)

ハナ絵モンの思い⑨

「…らしさ」って何？

市川（関本）英恵

妊娠中から「性別は？」と聞かれることが、よくありました。私は妊娠5カ月の時点で、超音波によって男の子と分かったのですが、それはあくまでからだの性別。なので「こころの性別は、まだ分からないけれど」と、付け加えて答えることもありました。

昨年末の紅白歌合戦で、お母さん（おげんさん）に扮する歌手・星野源が、「おげんさんは、男でも女でもない。紅白は今後、性別関係なく、混合チーム制にしては」と提案していて、なるほどと思いました。そうすれば「からだは男性・こころは女性」という人も、「男性と女性の間」という人も、「どちらでもない」という人も、誰もが参加しやすいように思います。

ぬいぐるみ好きな私は、「男の子だから、あまり私と一緒にたまごとはしないかな」と呟いていて、自分が無意識のうちに「男の子らしさ」「女の子らしさ」という型に、はめようとしていることに気づきました。「その人らしさ」を大切にできるよう、自分自身が変わらなくては、と思います。

(「憲法の歌」作詞者、しみん基金KOBELI理事、「子どもの権利・神戸」運営委員)



催し案内

東灘から発信・異色対談

今の社会、政治、世相をどう見るか

対談：内田樹 神戸女学院大学名誉教授

藤末衛 神戸健康共和会理事長

日時：4月13日（土）18時～

会場：東灘区民センター第1第2会議室

主催：安倍改憲 NO! 市民アクション東灘

問合せ：080-6120-6012（藤丸）

2019 ベーシックインカム連続講座

これからの働き・暮らしとベーシックインカム

講師：井上智洋 駒澤大学准教授

日時：4月14日（日）13時25分～

会場：国労大阪会館中会議室

主催：ベーシックインカム連続講座実行委員会

問合せ：06-6354-0661（国労大阪会館）

市民レベルの交流こそ

山本俊正

市民レベルの平和構築の有効な実例として、興味深い数字がある。

1963年に、独仏協力条約（通称エリゼ条約）が締結されている。独仏の平和と和解を促進するために、この条約に基づき、様々な事業が展開された。その中で最も成功したといわれるのが、青少年交流事業であったという。13歳から30歳までの、若い世代の交流プログラムである。2013年にエリゼ条約締結50周年の報告書が出た。

報告書によると、この青少年交流事業に参加した人が、50年間で約800万人いたという。年間で16万人の若者が、相手国に一定期間滞在しながら、直接交流を体験したことになる。ドイツとフランスの人口は、合計で約1億5000万人ぐらいになる。日本と韓国の人口を合わせると、約1億7000万人。日本と北朝鮮の人口合計は約1億4000万人で、ほぼ同じ規模になる。人口比でいうと、日韓の間で、また日朝の間で、年間16万人の若者が交流をする計算になる。

日韓、日朝でこのような体験交流が実現すると、朝鮮半島と日本の関係や相互の認識も、大きく変わるに違いない。地道な市民レベル交流は、遠回りに見えて、実は平和構築の近道かもしれない。

（関西学院大学教授）

特別寄稿

次世代の子どもたちのための社会を(2) ～欧州で広がる子どもたちの抗議運動～

久保はるか

気候変動問題のように、現在の経済活動のあり方が将来、長期に亘って影響を及ぼすような問題においては、世代間衡平に基づく判断が強く求められます。そのことを、将来世代の当事者である子ども達が気づき、発言をし始めていることに強い感銘を受けましたので紹介します。

欧州では、子どもたちによる政府の気候変動対策に対する抗議運動＝ClimatStrikeが広がっているそうです。スウェーデンの16歳のグレタさんのダボス会議（2019年1月）でのスピーチが深く突き刺さります。「気候変動はみんなが作った問題と言って、みんなの責任にするのは都合のいい嘘。大企業や政治家は気候変動問題のつけが誰にくるのか完全に知りながら、現状を変えずに想像を絶するお金を毎日稼ぎ続けている」と、気候変動問題を「権力と正義（ジャスティス）の問題だ」と指摘したということです（岸本聡子「学校ストライキ！中高生たちが起こす反気候変動の地殻変動」<https://note.mu/satokokishimoto/n/n3099b6ee2959>）。

大人には将来世代の子どもたちの声を、政治に届ける責務がある、と自戒を込めて改めて考えさせられます。

（甲南大学法学部教授、地域連携センター参与）



お返しは次の世代の人に

砂田 沙妃

わが家は、1月末から息子、娘、連れ合いがインフルエンザにかかり、息子が初めて「熱性けいれん」を起したり、色々とえらいことでしたが、近所の方々に助けていただきながら、何とか乗り切れました。連日、おかずを差し入れて下さった方がいまして、身の回りにあるものをお礼にお渡しすると、「私にお返しはいらないです。私も大変な時に助けてもらった。沙紀さんも子育てが落ち着いたら、次の世代の人に返してあげてね」と声をかけていただきまして、腑に落ちました。たくさんのおかずをもって、誰かのおうちに押しかけたい気持ちになりました。まだまだ先の話だとは思いますが、いつの日か。今は、割り切って、助けてもらおう、という気にもなりました。本当にありがたいことです。

で、1月に神戸市へ提出しました海運堂のNPO法人設立のための書類が、無事に受理され、最終審査を経て、何事もなければ、4月に認証予定です。2月に無事、出産も終えたことだし、少し時間をかけて、周りの方々と体制を整えていこうと思っています。

(神戸市東灘区住吉本町)

住吉山手から

ひまわり

公庄 れい

先日、知人から「ひまわりの日々～食からひろがる地域のつながり」という本が贈られてきた。明舞団地の近く、商店街の一角で地域老人の食を支える活動を続けている、入江一恵さんの十五年間の活動記録である。

七十三歳でこの事業を立ち上げ、朝六時から夜八時までの立ち仕事を週四日、十五年間続けてきた一人の女性。多くのボランティアに支えられているとはいえ、地域商店街や行政との折衝も含めて、彼女の肩にかかる仕事は多い。

ボランティアの一人は、私に言った。

朝、食事の材料が運び込まれて来るでしょ。それを見て入江さんは、一瞬で献立を考えるのよ。それが皆、おいしいの。

この本のカバーには、見回りも兼ねて、お年寄りのもとに届けられるお弁当の絵が、ボランティア手書きで使われているが、弁当を包む可愛い柄の風呂敷も、ボランティアの手縫いとのこと。そして、献立と作り方まで載っている。

一読、人間という生き物に対する信頼に包まれる。

発行 有限会社フェミックス (☎045・482・6711)

(孫たちの将来を案じるお婆ちゃんの会)

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6
番号 0217129
名義 九条の会. ひがしなだ

「景気回復の実感はない」(83%)、「10月からの消費税増税反対」(55%) それでも「景気拡大局面は続いている」として10月からの消費税10%増税を強行しようとする安倍政権。
民意を尊重しない安倍政権の姿がここでも鮮明に。(N)

編集後記